

事業番号	事務事業名	清掃総務臨時管理費	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
02452	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	環境係	担当者・シート作成者	岸川 深介
	施策名	44 循環型社会の形成	根拠法令等	鏡野町地域防災計画、鏡野鏡野町一般廃棄物処理基本計画		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	将来、本町が地震や洪水等の災害に直面した場合に、災害により発生した廃棄物の処理を円滑かつ迅速に実施し、速やかな復旧・復興を進めるため、災害廃棄物に関して予測される事態への対応策、災害廃棄物処理の手順をあらかじめ定めるとともに、災害発生に備えて平時から取り組んでおくべき事項を整理し、町の災害対応力を向上させることを目的として、鏡野町災害廃棄物処理計画を策定する事業。	未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災(平成7年)、東日本大震災(平成23年)において膨大な量の災害廃棄物が発生し、その処理は困難を極めた。今後、南海トラフ巨大地震等の発生も危惧されている中で、災害廃棄物の円滑かつ迅速な処理のために事前に対策を講じておくことが重要となるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 災害廃棄物	ア 災害廃棄物の量	t	見込 実績			0 0		
イ 廃棄物担当職員	イ 担当者の人員数	人	見込 実績			4 4		
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 迅速な災害廃棄物の処理	ア 発災から処理完了までの日数	日	目標 実績 達成率			1,095 - #VALUE!		
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 担当職員の育成	ア 災害廃棄物処理研修及び訓練回数	回	目標 実績 達成率			2 1 50.0%		
イ 災害廃棄物仮置場候補地の選定	イ 災害廃棄物仮置場候補地数	箇所	目標 実績 達成率			9 9 100.0%		
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 02 清掃費		目 01 清掃総務費		予算上の事業名					事業番号
			衛生費		清掃費		清掃総務費		清掃総務臨時管理費					
	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			6,083			6,083	一般財源			6,083			6,083	
合計			6,083			6,083	合計(A)			6,083			6,083	
財源名称							従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			64			64	
							人件費計(千円)(B)			214			214	
	最終予算額		6,083 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)				6,297	6,297
主な支出事業内容(予算)	委託料						6,083 千円							
	主な支出事業内容(決算)						委託料						6,083 千円	

事業番号	02452	事務事業名	清掃総務臨時管理費	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	-----------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成30年7月豪雨災害の発生時は、当町を含め西日本において膨大な量の災害廃棄物が発生し、ごみ処理が滞ったため、道路脇にごみが積み上げられるなど、住民の生活環境を著しく低下させた。また、その状況が全国放送で流れ、市町村が処理を行う災害ごみの処理に対する関心が高まっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 ごみ処理に関し、津山圏域資源循環施設組合とその構成市町と調整会議を2回開催した。現在、津山圏域クリーンセンターでの災害ごみの受け入れは、搬入調整を行わなければ容易に搬入できない状態であるため、実働において迅速に処理するためには、廃掃法の規定により諸手続きを行ったうえで民間の処理施設への搬入を検討する必要がある。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 特に意見要望は寄せられていないが、令和3年3月に計画策定が完了し、現在、町HPで周知を行っている状態。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	災害廃棄物は、一般廃棄物であり、廃掃法第6条によりその処理計画を当該市町村が定めることと規定されている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	災害廃棄物は、一般廃棄物であり、廃掃法第6条の2によりその処理はその区域の市町村が行うことと規定されている。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	令和2年度策定。ただし今後において、環境省の指針や岡山県災害廃棄物処理計画の見直しにより適宜見直しが予想される。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	令和2年度策定。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	令和2年度策定。迅速かつ適正な災害廃棄物の処理に支障が出ると考える。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	令和2年度策定。ただし今後において、環境省の指針や岡山県災害廃棄物処理計画の見直しにより適宜見直しが予想される。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	災害廃棄物は、一般廃棄物であり、廃掃法第6条の2によりその処理はその区域の市町村が行うことと規定されている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	災害がいつ起こるかかわからない。よって、常に災害に備える必要がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	適正で迅速な災害廃棄物処理に寄与している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	津山圏域資源循環施設組合、津山圏域衛生処理組合及び関係市町と歩調を合わせながら計画策定を行うことができた。 仮置場候補地に関しては、今後公共用地の利用状況を鑑みながら選定していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 仮置場候補地の選定。 災害ごみの運搬、処理、仮置場運営に関する協定書の締結。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								